



サイバーセキュリティの置き薬

2019年
第9号

キャッシュレス時代到来！利便性の裏に潜む危険とは？

日本では、クレジットカードや電子マネーなどのほか、特にスマートフォンによるQRコード決済を利用したキャッシュレス決済が急速に普及しており、素早い読取りが可能なことやポイントがたまるなどの理由から非常に注目されています。しかし、キャッシュレス決済は非常に便利な一方、セキュリティリスクを抱えていることも認識してください。

スマートフォンを利用したQRコード決済とは

商品を購入する際、スマートフォンにインストールした専用の支払いアプリで、店側のタブレット端末等に表示されたQRコードを読み取ることなどにより、利用者が事前に登録したクレジットカードなどで支払うことができるサービスのことです。

【使用するための準備】

スマートフォンに専用の支払いアプリをインストールし、アカウントを作成した上、**クレジットカード情報や銀行口座を登録**

【支払い方法】

- ① 店舗が表示するQRコードをアプリで読み取り、指定された金額を送金
- ② アプリに表示されたQRコードやバーコードを店員に読み取ってもらう



キャッシュレス決済の注意点

《これまでに確認された〇〇ペイを悪用した詐欺事件》

宅配便業者を装ったメールを不特定多数のスマートフォンに送ってウイルスに感染させ、盗み取った個人情報で〇〇ペイのアカウントを不正に作成した上、他人名義のクレジットカードを登録し、家電量販店で〇〇ペイのQRコード決済によりパソコンなどを購入して騙し取った。

～ キャッシュレス決済のセキュリティ対策 ～

- **身に覚えのないメールに添付されたURLは開かない。**
ウイルスに感染して、個人情報を盗まれる危険性があります。
- **パスワードの使い回しはしない。**
パスワードが一カ所から漏れれば、全てログイン可能になります。
- **パスワードを複雑なものにする。**
英大文字小文字+数字+記号で10桁以上を推奨します。